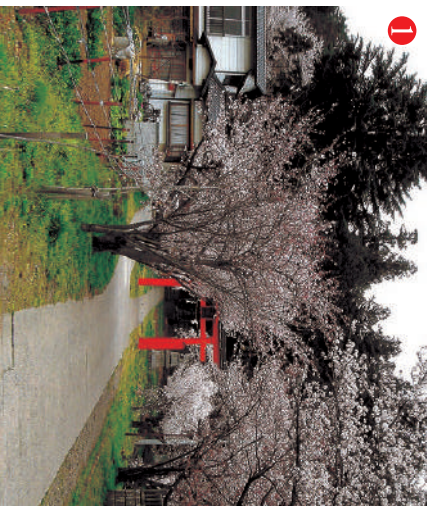


四季折々の自然、 展望・史跡ウォッチングを楽しみながら あなたに合ったコースを歩いてみよう！



1 三登山 八幡宮
ご神体は神功皇后が朝鮮征伐の折舟中に帶せられた御産石である。後に八幡太郎源義家が陸奥討伐に際して八幡大神として陣中に奉戴して勝利した。12世紀に鎌倉幕府の地頭職としてこの地に赴任した義家の孫、源賴隆が社殿を創建してこの霊石を奉納した。
5月5日の例大祭には佐久間象山筆の大櫓が立ち、伝統の相模大会などもあり境内は善男善女で賑わう。



2 若槻山城 沢出城跡
若槻里城と山城を結ぶ尾根の中間に位置している。平成15年5月9日に若槻小学校で実施した若槻山城全校探訪の帰りに当時の6年1組の児童36名が発見した遺構であり、南車の残しいきが堂沢地に落ち込む堅固の地である。
里城と山城の中継点であり、何らかの機能を持った遺構があっても不思議ではない場所である。この遺構の東北部にも人工的な地形が見られる。



3 若槻山城本郭跡（長野市指定文化財）
12世紀にこの地に赴任して若槻氏を名乗った源賴隆が構築したと伝えられている。その後室町から戦国期にかけて増改築がおこなわれた。主郭と付随する五つの郭群の規模は、北側の大小の堀切と中核土塁など大掛かりな山城である。
遺構は古さと共に、残存状況が良く山城の典型を示し、歴史的価値を有している。



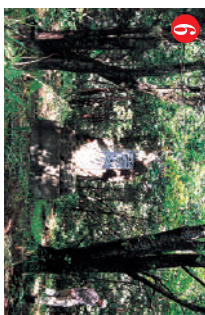
4 若槻山城番所跡
「ばんどこ」と呼び、山城本郭の北の備えである。ここまで来る山頂のアンテナを指呼の間にいることができる。
これより北には更に幾つもの堀切と塙が連なり北からの守りに意を注いだ様子が窺える。これらの機能は明確ではないが、甲斐合戦に際して後継やその北部の越後勢の動静を探り「ばんどこ」で口々に本隊に通報しめのではないかとと思われる。



5 笠松地蔵
土京山の西、約鐘堂山の西北麓に穏やかな表情でたたずむ産婆がおられる。かつてはここに松の太木があり、上部の枝が笠状に広がりお地蔵様を風雨からお守りし笠松と言われていたが、残念な事に平成初年に枯れて現在は大きな切り株がお地蔵さんの裏にその跡を留めている。
昭和28年までにはここから北に伸びる道の突き当りに圓龍寺という古刹があり、参道として賑わった。



7 旧山千寺（長野市指定文化財）
山千寺は天文12年（1543）に戸隠山願光寺の末寺として開基された後焼失したが、武田信玄家臣五子直久が本尊を奉戴して観音堂を建立した。観音堂は見上げる崖の上に石垣を組み入母屋造りの堂に縁を取り出し、京都清水寺を模した御産石通りで、殊縁造作共に見事である。



6 土京山城跡
三登山から流れてきた尾根が平田部に居くけ前に集める独立峰の頂上にある。歴史は不明であり機能も明確ではないが周辺に約鐘堂池、眠蓮などの地名があり歴史を感じさせる。
城跡は木立に囲まれているが、かつては眺望に置かれた。はるか北の聖山城と西の若槻山城を中継するロン台の可能性も捨てきれない。



8 吉古墳群
10ヘクタール程の地域に古墳63基、おしきの32基、計95基が密集する大古墳群である。6世紀の造葬で遠来人のものと思われる。
最大の古墳は第7号墳で羨道のある横穴式石室を有し高さは4mに及ぶ。北方の第31号、33号墳は整列式の大型古墳であるが、共に2個の石室を持っている。コースに近い第9号墳の横穴式石室の奥壁には台座している壁画の線刻があり注目される。



9 磐山観音清水
磐山城に出現した上杉謙信が水を求めて井戸を掘らせたが水を湧く水量が少なく、守り本尊として大切にしていた黄金の千手観音像を投じて祈願したところ、こんな清水が湧き出した。
その後村人が泉のほとりに堂を建て、泉からすくい上げた観音様を参ったが、いつかお堂も倒れた観音様は村のお寺に移したとされるものの現在その行方は不明である。



10 磐山城跡
越後から川中島への通路を握る地に有り、上杉勢の拠点であった後に武田勢に占拠された。北から西にかけて戦国の遺構が多く残る。南と東は急峻な地形であり近年の探石隊が見られる。本郭内に一等三角点、警神は、抜け穴と言われる凹地などがあり、北側にはカタクリのお花畑がある。
南麓の宇佐美沢は上杉軍の後退に際し、勇将宇佐美定行が武田軍の攻撃を死守した所と伝えられる。



この印刷物は、大豆インクを100%使用しています。



ローエングリンイベントの観光コンシェルジュ (株) ながの

phone. 026-223-6050



長野市観光文化部観光振興課
phone. 026-224-5042
e-mail: kankou@city.nagano.lg.jp

お問い合わせは…

三登山トレッキングコース愛護会によって

このコースは、若槻地区のみなさんによる

三登山 若槻 トレッキングコース 923m まやみ きつかわ

善光寺平を見下ろす三登山、髻（もとどり）山は、戦国時代は北国街道沿いの要衝でした。往時をしのびながら山城跡をめぐる歴史散策コースです。



カタクリの群生、満開の桜、頂上付近のツツジ、山ぼうし、また、山麓のリンゴなど、四季折々の表情を楽しむことができます。

山を眺めて、三登山です。

市街地から北アンテナのある



善光寺平を見下ろす若槻^み^と^{やま}三登山を頂点に 延べ23kmのダイナミックなトレッキングコース

